

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1262
施設名	西葛西ちとせ保育園
施設所在地	江戸川区西葛西2-17-15
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本『さくら』

<テーマの設定理由>

春が近づき、身近な自然の変化に目を向け、季節の移り変わりを感じられるような活動を考えた。また、クラス全体で一つの作品を作る共同制作を取り入れることで、友だちと一緒に作り上げる楽しさや達成感を味わう機会としたいと考え、このテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

- ・ 絵本を見る
- ・ 模造紙に描かれた木の幹に、手形スタンプで桜の花を表現する

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 絵本
- ・ 模造紙（木の幹を描いたもの）
- ・ ピンク、白の絵の具
- ・ 絵の具皿、雑巾、手拭き用タオル

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・絵本を通して桜の花が咲く様子に触れた後、2グループに分かれて交代で桜の木の共同制作を行う。
- ・絵の具を手のひらに付けて手形スタンプを押し、桜の花を表現する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・「桜みたい」「お花になった」と手形が花のように見えることを喜ぶ姿が見られた。
- ・「ここにも押ししたい」「いっぱい咲いたね」と友だちの手形と重なっていく様子に気づきながら活動する姿があった。
- ・絵の具の感触を面白がり、「もっとやりたい」と繰り返して楽しむ児が多かった。
- ・絵の具の感触に戸惑う児には、保育者が手を添えたり指先から試したりすることで安心して参加できるようにした。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

絵本をきっかけに活動を行ったことで、子どもたちの中に身近な桜への興味が生まれている様子が見られた。また、手形が重なり合うことで一つの大きな桜の木になっていく様子を見て「いっぱい咲いたね」などと達成感を共有する姿が印象的であった。今回の活動を通して、制作活動が自然への関心や友だちとの協働に繋がることを改めて感じた。今後は、実際の桜の花びらなどに触れる機会を取り入れ、更に自然への興味を広げていきたい。